学校だより
No. 4

山田っ子

令和７年６月２５日
玉野市立山田小学校

早いもので今年度がスタートして３ヶ月、１学期もあとわずかとなりました。例年のように厳しい暑さが続いていますが、子どもたちは暑さに負けず元気に学習したり運動したりしています。６月には子どもたちが楽しみにしている水泳が始まりました。安全に楽しく学習できるように、万全の体制で臨みたいと思います。これからの時期、学校では熱中症にならないよう気を付けていきますが、ご家庭でも水分補給の準備をしっかりしていただくことや規則正しい生活を心がけ体調を整えるようお願いいたします。

日本一やさしい学校にしよう

子どもたちのキラリ✨を紹介します

委員会の仕事を友だちと一緒に進んで手伝ってくれました✨

困っている下学年の話をやさしく聞いてくれました✨

草取りプロジェクト(5/20)

児童の運営委員会が企画して、校庭の草取りプロジェクトを始めました。全校で縦割り班ごとに場所を決めて、草取りを行っています。普段は用務員の先生を中心にきれいにしてくださっていますが、敷地が広く、この時期は草が伸びるスピードになかなか追いつきません。自分たちの学校に意識を持ち、自分たちできれいにする。とても良い取り組みだと思います。６月にも数回企画して取り組みました。

救急救命法研修(5/26)

水泳学習等に備え、教職員が玉野市消防の方を講師に救急救命法の研修を行いました。毎年この時期に行っていますが、何回やっても本当にいざというときにきちんと対応できるかどうか、不安はつきません。まずは、事故を起こさない体制や取り組み方に注力しつつ、何かあったときに慌てず対応できるようにしたいと思います。

避難訓練(5/27)

今年度初めての避難訓練を行いました。今回は１年生にもわかりやすくするため、火災のみを想定したものにしました。非常ベルが鳴り、指示を聞いてからは、ハンカチで鼻や口を押さえ、低い姿勢になって避難でき、全員の点呼が完了するまで２分もかからず、速やかに行えました。

いも苗植え(5/28)

１・２年生がサツマイモを植えました。今回も学校横の井上さんの畑をお借りして育てることになりました。一人３本の苗を大切に植え、自分の名前のプレートを土に挿して、しっかり水もやりました。初めはすぐにでも干からびそうでしたが、幸い雨も降り、しっかり根付いて元気に育っています。

プール掃除(5/29)

水泳学習に向けてプール掃除を行いました。プールのゴミを拾い、なかなか落ちない黒ずみやヌルヌルに苦戦しながら、こけないように注意して、たわしやブラシで壁や床を一生懸命磨きました。きれいになったプールで６月９日より水泳の授業、と思っていましたがプールの老朽化によるひび割れの修繕で延期となりました。少し遅れて１３日よりスタートし、子どもたちの元気な声が響いています。安全第一に水泳に取り組みたいと思います。（現在、プールの循環装置が故障中で、水のオーバーフローと消毒剤の手撒きにより対応しています。６月２７日に修理を予定しています。）

ペア給食(6/3・10・24)

縦割り活動をさらに充実させるため、ペア給食の取り組みを始めました。ペア学年で楽しく給食を食べることで、縦のつながりを今以上に深めることができればと思います。今後は、ペア学年をくじ引きで決めて食べたり、縦割り班で食べたりすることも計画しています。

租税教室(6/4)

玉野税務署と玉野商工会議所から講師の先生に来ていただいて租税教室を行いました。私たちの生活に密接に関係している税について、使い道などをわかりやすく説明してくださいました。児童は思った以上に税の種類を知っていて、積極的に答えたり質問をしたりしていました。１億円（レプリカですが本物と同じ１０ｋｇ）を実際に持ってみる体験もあり興味津々で授業を受け、税への関心を高めることができました。余談ですがレプリカも新一万円札にアップグレードされていました。

もみまき(6/12)

５年生が今年も米作りにチャレンジしています。今回は、田植えに使う苗を育てるためのもみまきを行いました。品ノ作の井上史郎さんにご協力いただき、自分たちで苗床をつくり、もみをまきました。水を欠かさないことや水をやるタイミングなどを教えてもらいました。みんなで大事に育て、今ではずいぶん苗が大きくなりました。６月３０日（月）に田植えを行う予定です。

親子活動・授業参観・PTA 講演会・引渡訓練(6/18)

お忙しいところ、ご参加くださりありがとうございました。

４・５年の親子活動では、子どもたちが保護者の方と一緒にできることが本当に楽しそうで、どの子も笑顔にあふれていました。

PTA 講演会ではフリーアナウンサーの中村恵美さんを講師に、アンガーマネジメントのお話をユーモアを交えて楽しくしていただきました。怒りの原因は「こうあるべき」という理想と現実のギャップにある、適切に怒ることは悪いことではない、「過去」と「他人」は変えられないが「未来」と「自分」は変えられる、など多くの学びがありました。